

繁藤月報

〒 789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

隠喩と象徴

「元初まりの話 ②」

こふきのひろめシリーズ vol.8

今月は、前回紹介した『ムック天理 II 人間誕生』の中にある『元初まりのお話（編述…芹澤茂）』の続きを読み解いていく。

本題に入る前に、今回も一つ前提となる視点を共有しておきたい。

◆ 浮かんでくる疑問

「元初まりの話」にふれると、現代を生きる私たちはどうしても様々な疑問を抱いてしまう。

○ なぜ、どうしようが人間の種なのか？

○ たいら一面の泥海なのに、こんな動物がいたのだろうか？

○ 魚や動物にお話をして、どうやって理解させたのか？

こうした疑問が頭をよぎるのは、決して私一人ではないだろう。

◆ 現代科学版・人間想像の話（仮）

仮に、現代科学のものをさしを用いて、今の私達がある程度納得できそうな「人間創造の話」を創作するとしたら、次のようになるかもしれない。

もともと人間はアメーバだった。このアメーバは、細胞分裂によって無性生殖むせいせいしよくをする単細胞生物なのだが、あるきっかけで突然変異が起きる。

二つの異なる性質を持つ個体、つまりオスとメス、もつと具体的に言い換えれば、雄しべと雌しべ、卵と精子という生殖細胞が合体して新しい個体をつくるようになったのだ。これは有性生殖ゆうせいせいしよくといって、生物の進化を飛躍的に進めるきっかけとなった。

そもそも、生物はDNAという設計図を持っており、A（アデニン）、T（チミン）、G（グアニン）、C（シトシン）の4種類の塩基えんきからなる化学物質で構成されていて……。

あえて小難しく書いてみたが、皆さんはどんな印象を持たれただろうか。少し意地悪な想像かもしれないが、もし教祖が当時このように語られたら、お側の高弟こうていたちはどのように感じただろうか。もちろん、なんとか理解しようとする努力はされるであろうが、「元初まりの話」を信仰と結びつけることは、おそらく難しかったはずだ。

ある程度科学知識に明るい現代人であっても、頭で理解することはできても、それを「神の物語」として味わうことはできないだろう。

う。ましてや人間創造の核心、つまり「本当の神意」を悟ることなどできそうにない。

子ども自身が「自分がどうやって生まれてきたのか」を知ろうとするなら、親から直接話を聞かないことには分かりようがない。同様に、我々人間がどのように、そして何のために創られたのかは、人間を創られた元の親である親神様によってこそ明かされるものである。

これからも科学の進歩によって解明されていく事実はたくさんあるだろう。しかし、科学的なアプローチを突き詰めたとしても、元の神・実の神である親神様の思召が真に明らかになることはないはずだ。

◆ 隠喩と象徴

教祖が直々に「元初まりの話」をお伝えくださったのは、江戸末期から明治にかけての頃である。当時、お屋敷に寄り集っていた人々の多くは農民であった。「元初まりの話」は、その人々にとって身近な生き物や概念を用いて語られている。

私たちが先人と同じように「元初まりの話」を味わうための導入と



して、次のような捉え方ができるのではないだろうか。

一つ目は「隠喩（いんゆ）（メタファー）」として捉えることである。隠喩とは、「〴〵のようだ」という直接的な比較表現ではなく、別の事物や概念に置き換えて暗示的（あんじてき）に意味を伝える比喩表現（ひゆひげん）だ。例えば、「私たちにあって母は太陽だ」といった表現である。

二つ目は「象徴（しょうちよう）（シンボル）」として捉えることである。「象徴」とは、抽象的な思想・観念などを、具体的な事物によって理解しやすい形で表すことを指す。「鳩は平和の象徴だ」といった表現がその典型である。

どちらも抽象的な事柄や、目に見えないものをわかりやすく伝え、捉えるためにある表現方法である。「元初まりの話」を味わうための一つの入り口として、隠喩や象徴という視点を紹介したが、これは決して「元初まりの話」を単なる神話や作り話にしたいわけでも、科学的証明を諦めたわけでもない。

信じるか、信じないか。正しいか、間違いか。そういった次元で語るものではない。大切なのは、疑うことなく、あくまで素直な気持ちで向き合う姿勢である。

またもや前置きが長くなってしまったが、本題の引用文の続きを紹介したい。

◆ 元初まりのお話②（ムック天理Ⅱ）

そこです、うをとみとを呼び寄せられた。うをとみはお召し
 によって、月日様のもとへ真つ直ぐにやつてきた。月日様がよく
 よく御覧になると、顔といい肌合いといい、つくろうと思う人間
 にふさわしく、また心根もともに一すじ心で、月日様のお心に
 かなっていた。月日様は人間創造の思召しをお話しになつて、
 「おまえたちを人間の雛形にしたいと思う。ここにいたたくさん
 のどぢよをたねとして、ほかに道具も寄せてやるから、ひとつ、
 種・苗代たね なわしろとして働いてくれないか」

とお話になった。うをもみも一度はお断り申し上げたのである
 が、月日様が重ねて、

「人間世界ができあがつて、初めて生まれる子数こかず（子供の数）
 の年限が経つたなら、親として敬われるようにしてやろう」

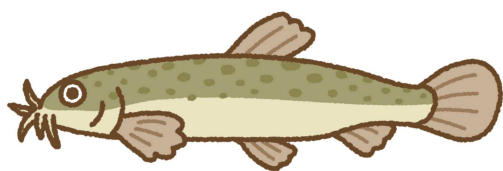
とお約束になったので、やっと承知をした。

そこで、人間の種・苗代いとしてもらい受けら
 れた。

◆ 解説（元初まりのお話）

● どぢよ（どじょう・泥鰌）

戦後まで、農村でもっとも親しみのある魚であつ



た。どこの小川にも、田の溝にもいたのが、どじょうである。

泥にまみれ、泥川の中に住んでも、洗えば清らかなもので、体の
 中までは泥に汚れていない。泥にいて、泥に汚れぬ清らかなさがどじ
 ようにはあるのだ。

泥海の中にわき出るがごとく、無数に泳ぎ回るとじょう。月日親
 神は、これを人間のたねとされた。

● うを

こふき本ではそれぞれ、ぎぎよ（岐魚）、げいぎよふ（鯢魚・げ
 いぎよ）などと表現され、統一されていない。

こふき本の一つ「山田本」にはこう記されている。

このうをハにんげんのかおで うろこなし。からだハ人間のはだや
 いで、それゆへに 人ぎうとゆふ。また ぎふげふともゆふ。

このうをのかたの処に ゑらがあり、此うをハ、よこいもよらす
 あといも もどらすに、ただむこいくと いくと斗りばか。

（『山田伊八郎文書』 35頁）

先日私が参加した勉強会では、鯢
 魚（げいぎよ）とはサンショウウオ
 ではないかという説も聞いた。

ともかく、当時の人たちに想定さ
 れていた「うを」は、魚の体であり
 ながら人間の顔に似て、鱗を持たな
 い人魚とも呼ばれている動物であつ
 た。そして、横へ曲がつたり後ろへ



戻ろうとせず、ただ前へ前へと泳ぐ習性をもつという姿であった。

● み

こふき本ではそれぞれ、み・みい（巳）、白ジヤ（白蛇）、白くつな・しろぐつな、などと表現されている。

こふき本の一つ、「榊井本」にはこう記されている。

みすませば、みいとゆうしろぐつなかい。このものも、

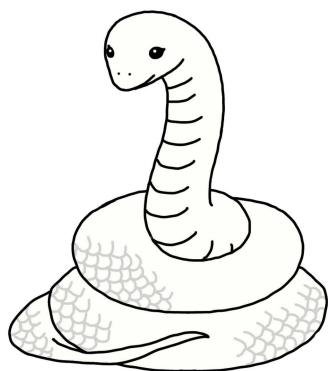
いま人げんのはだにて、うろこなし。

（『こふきの研究』 109頁）

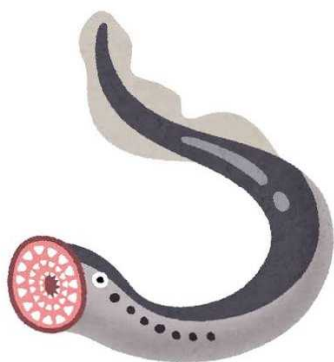
先日参加した勉強会では、白蛇は「みずへび」であり、生物学的に言えば「ヤツメウナギ」と考えられるのではないか、という興味深い説も耳にした。

ヤツメウナギは、一見するとウナギに似ているが根本的に異なる動物で、「狭義の魚類」からも外れる非常に原始的な脊椎動物である。その肌は人間に似てすべすべしている。

とはいえ、単に「白い蛇」として想定されていた可能性も十分にあるだろう。



白い蛇



ヤツメウナギ

● 一すじ心（ひとすじ・一すぢ・ひとすぢごろ）

いちずな心、ただ一つのこと心に心を傾けるさま。「月日様のもとへ真つ直ぐにやつてきた」という姿から考えると、神一条の精神ともいえるだろう。

みかぐらうた 三下り目

六ッ むりなねがひはしてくれな ひとすぢごろになりてこい

セッ なんでもこれからひとすぢに かみにもたれてゆきまする

● 種・苗代

田植えの前に稲の種粃（たねもみ）をまいて、苗を育てるための小さな田んぼや場所のこと。

種 Ⅱ 男性的機能および性質

苗代 Ⅱ 女性的機能および性質

◆ おふでさき

このもとハどろうみなかにうをとみと

それひきだしてふうくはちめた 六号32

このよふの元はじまりハどろのうみ

そのなかよりもどぢよばかりや 六号33

そのうちにうをとみいとがまちりいる

よくみすませばにんけんのかを 六号34

それをみてをもいついたハしんぢつの

月日の心ばかりなるそや 六号35

「大意（おふでさき註釈より）」

その元はと言えば、泥海の中に、うをとみとがいた。それを引き出し夫婦を始めたのである。そもそもこの世の元初まりは泥の海で、その中にどじょうばかりが泳いでいた。その中にうをとみが混じっていて、よく見澄ませば人間の顔をしている。それを見て思いついたのは月日の心ばかりである。即ち、月日の思うには、「このものに、道具を寄せてだんだんと親神が守護を教えた事ならば、さぞ立派な人間が出来よう。」と。

今回は、教祖御在世当時の先人たちが理解しやすい表現で語られた「元初まりの話」を、「隠喩・象徴」という視点をもって味わうということ述べた。

今回の解説は、ここまでとしたい。

立教一八九年十月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

【神殿講話】

(10月) 諸井道隆 世話人先生

(本部准員 山名大教会長)

【しげとう time おかえり講話】

(10月)

【教会長神殿当番】

(10月)

紋別・紋宝

(11月)

日之富・高杉

【教養係】

(10月)

渡辺道仁(前半)

(11月)

立花真一郎(後半)

【詰所事務当番】

(10月)

小長史慶

(11月)

高橋道則

【ひのきしん】

○本部食堂ひのきしん(11月1日～15日)

別府分教会

○婦人会詰所ひのきしん(10月25日～26日)

大教会 2名

【五季づとめ】

今月は五季づとめの月ですので、左記の通り上級の教会を通してお納め下さいますようお願い申し上げます。

記

一、五季づとめ

三、〇〇〇円

【主教百八十九年 九月月次祭 祭文】

これの繁藤大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教
繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。

「このよふのしんちつなるをせかへちうへ」とふしてなりとしらしたいゆへ」との深い思召により、月日のやしろなる教祖を通して、元の理をはじめよろづ委細の眞実をお説き明かし下さいました。爾来、絶え間ない親神様の御守護に包まれて、陽気づくめの世界へとお連れ通り下さいます親心の程は、只々有難く勿体ない限りでございます。私共は、朝夕に御厚恩を拝謝し、常に教祖のひながたを求め、心勇んで日々を歩ませて頂いておりますが、その中にも、秋分を迎える今日の吉き日は、これの教会に御許し頂く月々の御祭日でございますので、只今からおとめ奉仕者一同心を一つに合わせ、座りづとめ、てをどりをとめて、九月の月次祭を執り行わせて頂きます。御前に寄り集ったよふばく信者一同、日頃賜る厚き御恵みに御礼申し上げ、をやの御心に溶け込みながら朗かにおうたを唱和し、たすけ一条の決意を新たにす眞実の状を御覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。私共教会長をはじめ、よふばく一同は、教祖百四十年祭をつとめ終え、新たな歩み出しのこの時句にあつて、特に今月はにいがけ強調の月であり、月末の三日間は「全教一音にをいかけデー」を実施させて頂きます。老いも若きも、各々に委ねられた「道弘め」の使命の重さを心に刻み、己が姿勢を正し、素直にひながたの道を辿つて、にいがけ、おたすけ、修理肥に丹精を尽くさせて頂く所存でございます。

何卒、一同の心をお受け取り下さいまして、激しく揺り動く世上に對して、臆せず遅れず、だめの御教えを胸から胸へ伝えて、人間思案の迷いを払い、一れつ兄弟姉妹と共に神人和樂の世の状へと、一步一步前進させて頂けますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会 立教百八十九年九月月次祭 祭典役割》

祭主	指図方	扨者	扨者	賛者		男			女			地方			笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	神殿講話	
大教会長	為田紀久男	佐藤栄治	空閑一将	田村聡佐	村上由高	座りづとめ	大教会長	前大教会長	田村辰久	大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	佐藤栄治	空閑一将	空閑一教	為田基紀	為田紀久男	藤田憲明	坂本久徳	田村久徳	宮田孝道	佐藤順子	村上美栄子	佐藤文代	大教会長
八足出し					てをどり前半	村上英士	田村聡佐	伊藤正福	田村睦美	佐藤明子	武市まち子	藤田一憲	川田節夫	前田豊	田村省悟	高橋道則	佐藤成彦	宮田教一	佐藤節幸	村上由高	空閑都	為田賢子	坂本喜子		
立花真一郎	佐々木恵	田村省悟	村上由高	高橋道則	藤田誠	てをどり後半	立花真一郎	黒河明大	坂井博文	黒石美佐	空閑真理代	田村育与	佐々木恵	竹下隆廣	竹内一祥	立花孝一	村上修	藤田誠	田村庫治	秋月英希	藤田善典	高山範子	宮田みなみ	阪本喜代子	

【婦人会】

○みちのだいおはなし会

日時 10月26日(土) 午後1時～2時

場所 東講堂

講師 白木原 真理 先生(本芝支部長)

テーマ 「親々に導かれて教えの実行、

末代へ続く道」

・託児はありません

○第31回女子青年大会

・日時 11月1日(日) 午前10時

・場所 本部中庭

※ぜひ女子青年の方にお声がけをお願いいたします。

○おやさとマルシェ

大会前夜におやさとマルシェを開催します。

繁藤支部でも出店いたします。ぜひお越し

ください。

・日時 10月31日(土)

夕づとめ後～午後8時

・場所 東・西泉水プール前広場

※参加される方は、直属教会を通して大教会までご連絡ください。

【青年会】

○第100回 天理教青年会総会

「おちばが、僕らを一つにする。」

「100回という節目に、仲間とともにおちばへ帰る。総会に集う一人ひとりの思いと歩みが重なり、次の時代へつながる、大きな一つの

流れとなっていくます。」

・日時 10月27日(火) 午前10時

・場所 本部中庭

今年は、100回目という節目の総会です。大勢の青年会員さんと共におちばに帰らせて頂きたいと存じます。青年会員さんにお声がけのほどよろしくお願いいたします。

前夜祭(夕づとめ後 東西泉水前広場)には繁藤分会も模擬店を出店します。会員の皆様にもお手伝い頂けますよう。よろしく願いいたします。

総会・前日行事の詳細につきましては、QRコードより総会特設ページをご覧ください。

【修養科志願者(10～12月)】

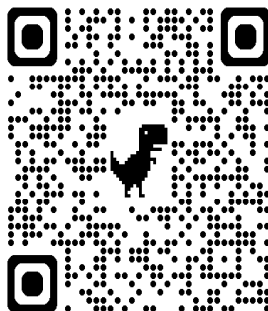
関守 山本辰吉

【をびや】

1件

【おももり】

1件

青年会総会
特設ページ

第31回

女子青年大会

友達誘って おやさとちばへ
～ 伝えよう 私たちから み教えを ～

立教 189年 2026年

11/1 日

式典 ▶ 午前10時 本部中庭
記念行事 ▶ 式典終了後 支部の時間
～ 話そうみんなで～

別席
おちばに帰らせていただくこの機会に別席を運びましょう。また、別席者のご守護を頂きましょう。

おやさとマルシェ
時間 / 夕づとめ後～午後8時
場所 / 東・西泉水プール前広場
各地のおいしいものや雑貨などの模擬店を楽しもう!

天理教婦人会

10月の仕切り月

3日 新浜濱 分教会
10日 赤池 分教会
12日 佐岡 分教会
17日 馬関 分教会
18日 方城 分教会
19日 本山 分教会

9月の仕切り月

6日 空心 分教会
6日 繁山 分教会
10日 大豊田 分教会
12日 種孝 分教会



～ 繁藤詰所改修ふしん～

感謝の集い

繁藤に繋がる皆様へ、感謝の気持ちを込めて！

皆様のお心寄せにより、繁藤詰所が綺麗になりました！

本当にありがとうございます！！

新しい詰所で、同じ繁藤に繋がる皆様と集い、
楽しく交流できる時間になればと思います。

たくさんのご参加をお待ちしております☆

日時

10月25日 日 18:00～20:30

18:00～



おつとめ

4階 大広間

18:30～



感謝の集い

1階 食堂

20:30



終了予定

模擬店

※有料チケット制



ビール



ジュース



フランクフルト



フライドポテト



鮎



枝豆



アイス など



また、お楽しみの行事も出来たらと考えております！！



※詰所食堂で炊事本部の食事をとられる方は

18:00までに済ませていただきますようお願いいたします。